

主 題：神が男性に求めておられること

聖書箇所：随所

1998年、東京都が発表した小学3,4年生と中学2年生約1900人を対象に行なったアンケートの結果では、女子には「お父さんのような人と結婚したいですか」と、男子には「お父さんのような人になりたいですか」との質問に「ハイ」と答えるパーセンテージが年々低下しているのです。

神の目に父親はどのようにうつっているのでしょうか？神が命じておられることに忠実に従っているのでしょうか？神から託された一日をどのように歩んでいるかが問われています。

☆ 神が父親に望んでおられること（クリスチャンの父親に対して）

1. その信仰が成長すること

1 コリント 16 : 13

「目を覚ましていなさい。堅く信仰に立ちなさい。男らしく、強くありなさい。」

(1) 目を覚ましていなさい。

私たちの周りには、みことばに背いた生き方をしようとする誘惑が満ちているからです。そして、心の中にその誘惑へと引かれてゆく罪があるからです。ゆえに、注意して＝目を覚まして＝神に喜ばれることを常に考えていることが大切なのです。子どもたちは見えています。父親の生き方が子どもたちへのメッセージなのです。

(2) 堅く信仰に立つ。

みことばが教えることが私の結論であるように。

(3) 男らしく強くあるように。

この世にあって、勇敢にみことばに従ってゆく決心です。父親には家庭の長としての責任があります。大胆な信仰者、どんな時も神を信頼し従ってゆくのです。そのために、神がどんなお方かを知ることが大切です。知ることによって、より神に従ってゆく思いが強くなって行くのです。

2. 家族への責任を果たすこと

それは家族を養うことです。創世記 3 : 17 に男は「苦しんで食を得る」と定められましたが、物質的な面だけでなく、霊的な面での養育を教えています。父親は家族の霊的リーダーなのです。

エペソ 6 : 4 には「父たちよ。あなたがたも、子どもをおこらせてはいけません。かえって、主の教育と訓戒によって育てなさい。」とあります。子どもをおこらせてはいけない、これは、えこひいきやムチャクチャな要求をすることで、子どもに不平不満を与えてしまうことです。「主の教育と訓戒によって」、これは、神を喜ばせることが生きがいである、と教えることです。これが本当の満足であること、本当の喜び、平安がここにあると教えるのです。どのようにそれをしてゆくのが次に教えられています。主の教育によって：訓練すること、ときには懲らしめることも含みます。生きてゆく道を教え、指導してゆくのです。主の訓戒によって：戒め、忠告することです。テトス 3 : 10 に「分派を起こす者は、一、二度戒めてから、除名しなさい。」とある、この「戒め」と同じことばです。まちがった所から立ち返るように戒めるのです。マタイ 18 : 15～に書かれている戒規は悔い改めのためです。箴言 22 : 6「若者をその行く道にふさわしく教育せよ。そうすれば、年老いても、それから離れない。」とあるとおりです。

“あなたのきよい生き方によって、…話すことを少なくし、その影響を子どもたちに…”といわれます。家族を導く男性は教会を導いて行きます。1 テモテ 3 : 4,5「自分の家庭をよく治め、十分な威厳をもって子どもを従わせている人です。—自分自身の家庭を治めることを知らない人が、どうして神の教会の世話をすることができるでしょう。」

そして、女性はこの男性を助けつつ祈ってゆくのです。